

2017
8

長崎県

長崎県の“土木”のいまがわかります

NO. 32

DOVOC 通信 ながさき

特集
1

土木部の予算

特集
2

大水害の教訓と石木ダム建設事業

～安心・快適な暮らしをつくる県の取組～

「現場百景」 DOVOC インフォメーション



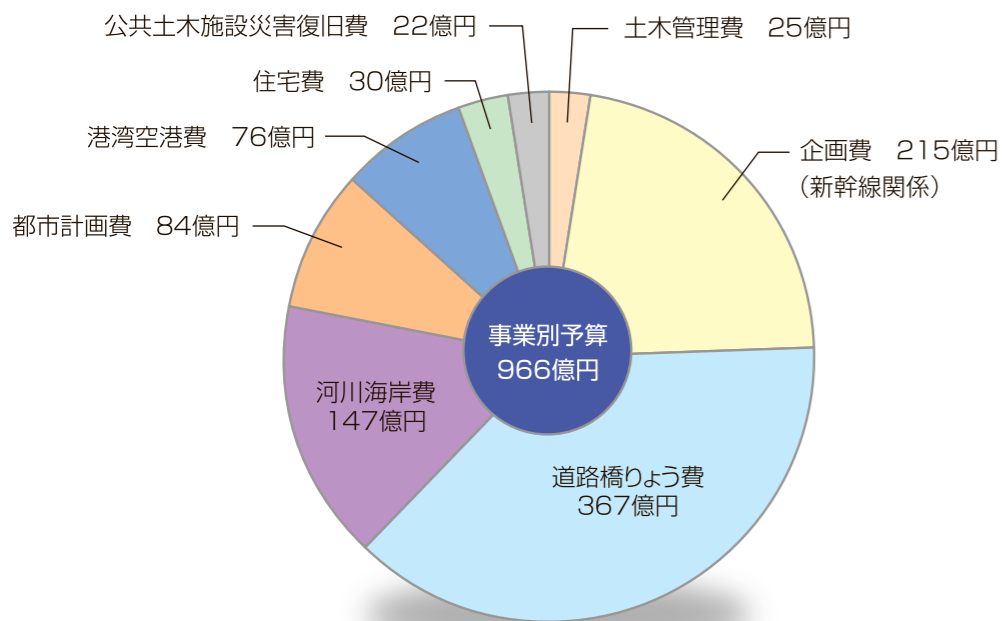
みなさまのご協力により
完成しました。
ありがとうございました。



主要地方道玉之浦大宝線(大宝工区) 五島市
玉之浦と他の地区をつなぐ唯一の道路で、災害等による地域集落の孤立化の解消を図るとともに、安全で円滑な交通を確保しました。

◎平成29年度予算の
使いみちと財源

土木部の平成29年度の予算は966億円。
これからも、県民のみなさんの快適で安全な暮らしを下支えするための事業を行ってまいります。



◎主な事業箇所

道路・街路

- 【継続】JR長崎本線連続立体交差(長崎市)
- 【継続】池田沖田線(大村市)
- 【継続】島原道路(島原市・諫早市・雲仙市)
- 【継続】西彼杵道路(時津町)
- 【継続】一般国道303号橋梁補修事業(平戸大橋・平戸市)
- 【継続】一般県道佐世保世知原線板山区(佐世保市)
- 【継続】主要地方道長崎南環状線(新戸町・江川工区)(長崎市)
- 【新規】主要地方道有川新魚目線(青砂ヶ浦工区)(新上五島町)

都市公園

- 【継続】百花台公園(島原市・雲仙市)

港湾

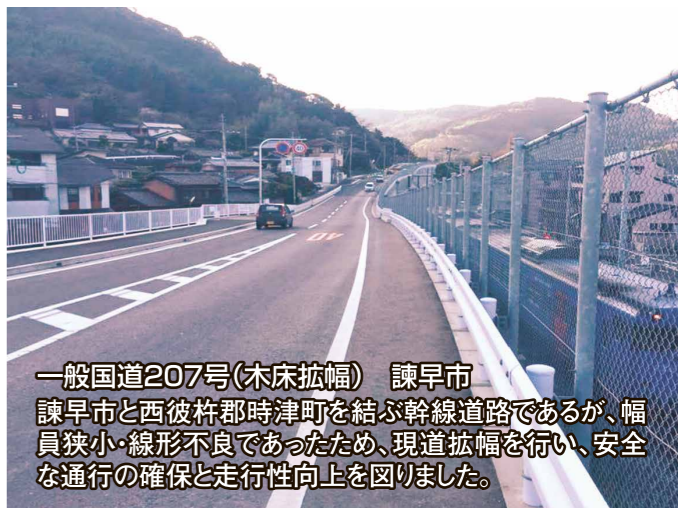
- 【継続】厳原港(対馬市)
- 【継続】口ノ津港(南島原市)
- 【継続】調川港(松浦市)

河川・砂防

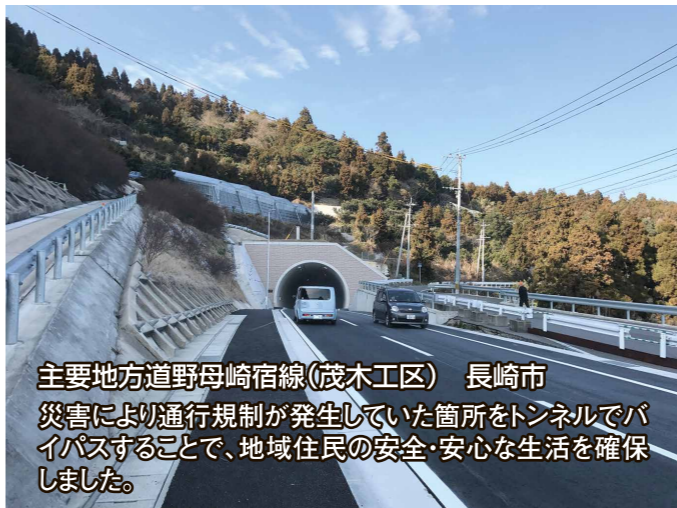
- 【継続】江ノ浦川(諫早市)
- 【継続】猪子平川砂防(時津町)
- 【継続】立岩地区地すべり(松浦市)
- 【継続】田中(2)地区急傾斜(長崎市)
- 【新規】立岩川砂防(長崎市)

住宅

- 【継続】深堀団地(長崎市)
- 【継続】花高団地(佐世保市)



一般国道207号(木床拡幅) 諫早市
諫早市と西彼杵郡時津町を結ぶ幹線道路であるが、幅員狭小・線形不良であったため、現道拡幅を行い、安全な通行の確保と走行性向上を図りました。



主要地方道野母崎宿線(茂木工区) 長崎市
災害により通行規制が発生していた箇所をトンネルでバイパスすることで、地域住民の安全・安心な生活を確保しました。

◎支援事業の紹介

3世代同居・近居を支援しています
(長崎県3世代同居・近居促進事業)
新たに3世代で同居や近居(注)をするための、住宅の新築や改修工事費、住宅の取得費を、市町と二緒に支援しています。
(注)近居とは、市町が地域の実情に応じて定める距離とします。

- ① 新築工事
- ② 以下の改修工事費
 - ① 間取りの変更等
 - ② 設備(キッチン、浴室、トイレ、洗面所等)の改修・増設
 - ③ バリアフリー改修
 - ④ 屋根・天井、外壁、床、窓の断熱改修
 - ⑤ 浄化槽の設置・取替え



(3) 住宅の取得費(新築中古)

補助率1/5

最大補助額40万円

※内容は市町によって異なる場合がありますので、「詳しくは、県住宅課のホームページ「住まごの手箱」でご確認ください。」

【窓口】お住まごの市町



竹敷港浮棧橋 対馬市
竹敷港竹敷地区における浮棧橋を整備したことにより、利用者の安全性と利便性の向上を図りました。

現場百景



支承の組み立て現場。設置現場の準備と同時進行で造られていた。



大島大橋全景。見晴らしがいいだけに風も強く、橋桁は風の影響を受けにくい形状になっている。



中央にあるのが今回交換する支承。右側はメンテナンス用入口。

○水平支承
支承とは、橋梁上下部構造間に作用する荷重を伝達する部材です。水平支承は、地震や風などによる橋軸直角方向(横方向)の動きを抑える役割を持っています。



橋の内部。大島大橋は水道や電話線などのインフラも通っている。

大島大橋 橋梁補修工事

入梅しているというのに青空の気持ちのいい6月中旬、西海市の大島大橋を訪れた。西海市大島町と西海町を結ぶ橋として1999年11月に供用が開始されたこの橋は、供用から17年の月日が経ち、塗装の浮きや錆びなどが起きてきた。また、設計後、大規模地震がいくつか起き、道路橋の耐震基準も変わった。そこで、大島大橋では現行の基準に合わせるため平成28年から耐震補強工事を行っている。この度、水平支承(上部工と下部工の間に入れる部材)の取替が行われるということで現場を訪れたのだ。が、今期の工事は始まったばかりで具体的な作業を見るというより現場の確認と、工事概要を聞くにとどまった。

しかし、せっかくだからと、その支承を作っている大島造船の工場も見せていただいた。大きな建屋の中に置かれた支承はこれから鋼材の溶接に入るそうで、若い作業員たちがその工程を真剣な眼差しで確認していた。溶接は手順が重要で、うまく行わなければ部材が歪んでしまう。そうならないように細心の注意を払って溶接するのだという。

インフラは供用された時点で「使えて当たり前」となってしまう。だから、そこを使う際にいちいち意識することはほばない。今回こうして、支承を作っている現場と、それを取り換える現場の両方を見せていただいて強く感じたのは、橋を当たり前に通れるよう支えている人たちの存在だ。工場でのがんばり、設置現場でのがんばり、支えている人たちの「がんばりのリレー」があつてこそ、私たちはインフラを意識することなく使えるのだ。

次にこの橋を渡る時、工事はもう終わっているだろう。しかし、今回の取材で出会った人たちの顔を思い出しながら渡りたいと思う。



小島健一

「見学者」土木工事現場、産業遺産や工場などを一般向けにLIVEBや書籍、などで紹介。2011年10月から3年間、長崎の離島「池島」で地域おこしを行い、長崎大学の研究員を経て、現在は鹿児島県の入来麓武家屋敷群で地域振興の芽を探している。著書に「社会科学見学に行こう」「ニッポン地下観光ガイド」などがある。

長崎県では管理する橋梁を対象に「長崎県橋梁長寿命化修繕計画」を策定しています。致命的な損傷を受ける前に小規模な補修をこまめに実施し、ライフサイクルコストを削減します。また、大規模地震に備え、緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強を行っています。

西海市大島町
【特産品】大島とまと、伊勢えび
あらかぶ、焼酎
【観光地】百合岳公園

大島大橋
L=1,095m

大島大橋
西海市西海町と大島町を結ぶ海上橋梁
○橋 長 L=1,095m(うち斜張橋670m)
○開 通 平成11年11月11日11時11分11秒

石木ダム建設事業

川棚川も同様に傾斜が急であることなどから、過去、幾度となく大きな洪水被害に見舞われてきました。石木ダムは、こうした洪水への対策と合わせて、佐世保市の安定した水源確保を目的とした多目的ダムであり、周辺地域にお住まいの皆様への安全・安心な暮らしを守るため、ダムの早期完成に向けた取組を進めています。

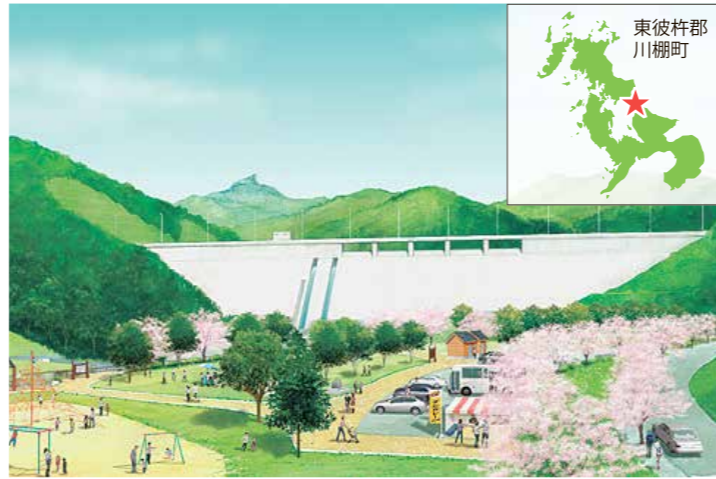
石木ダムの概要、進捗 (H29.3.31現在)

◎事業費/285億円 ◎型式/重力式コンクリートダム

◎ダムの高さ/55.4メートル ◎ダムの長さ/234メートル

◎総貯水容量/548万トン ◎事業の進捗/約52%(約149億円)

用地の進捗状況	買収面積 (千㎡)	全体 793千㎡	
		649千㎡ (81.8%)	144千㎡
移転家屋 (戸)	全体 67戸		
		54戸 (80.6%)	13戸
地権者数 (世帯)	全体 121世帯		
		105世帯 (86.8%)	16世帯



ダム直下広場からみた石木ダム完成イメージ



東彼杵郡川棚町



平成27年7月洪水時の川棚駅前付近

川棚川は、流域に人口や資産が密集しており、氾濫すると大きな被害を受けることが予想されるため、河川の改修や石木ダムの建設などにより、概ね100年に一度の大雨に備えることとしています。



重機等による土工作業の進捗状況

川棚町の市街地を流れる川棚川は、大雨によりたびたび氾濫し、周辺住民は大きな被害に見舞われてきました。このため、県は、過去の災害などをもとに川棚川の整備計画を立て、洪水被害の軽減に取り組んでいます。

発生年月	川棚町の洪水被害 雨量(ミリ)		被害状況
	3時間	24時間	
昭和23年9月	187.6	384.2	床上・床下浸水 2,000戸
昭和31年8月	187.5	279.5	床上・床下浸水 800戸
昭和42年7月	172.8	222.8	床上・床下浸水 128戸
平成2年7月	140.0	348.2	床上・床下浸水 384戸
川棚川の計画雨量	203.0	400.0	概ね100年に1度の雨

川棚町の洪水被害

石木ダム建設事業は、昭和50年度の事業着手以降、歴代の知事が現地を訪問するなど、地域の皆様から理解を得るために説明を行ってまいりました。その結果、全体の8割を超える地権者の方々に協力をいただき、県が取得した土地で道路の付替工事を進めています。

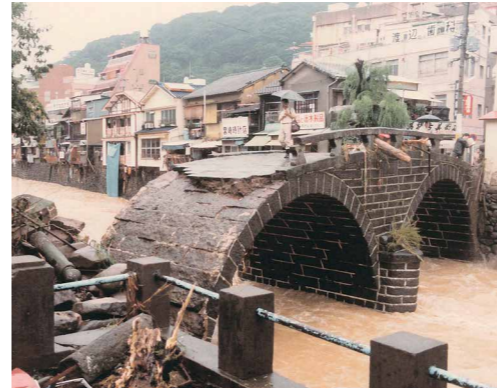
現在、この工事現場においては妨害が繰り返されていますが、今年の7月に発生した九州北部豪雨や秋田県での大雨など、毎年各地で自然災害が頻発しており、過去に大きな災害を経験した本県としては、地域の皆様の安全確保が行政としての重要な責務であると考えています。

こうした事情から、県は安全に配慮しながら、一日も早いダムの完成に向け、工事を進めています。

事業の推進に向けて

忘れてはいけない、大水害の教訓

今年、長崎大水害から35年、諫早大水害から60年の節目となる年です。県内の河川は、傾斜が急で距離が短いため、大雨が降れば水位が急激に上昇し、これまで幾度となく水害に見舞われてきました。こうした過去の経験を教訓に、河川改修やダム建設などの施設整備を進め、情報提供などのソフト対策と合わせた防災対策に取り組んでいます。



中島川の氾濫により一部流失した国指定重要文化財眼鏡橋

梅雨末期の未曾有の豪雨により、土砂災害や河川の氾濫が同時に多発し299名の尊い命が奪われました。中島川では、河川の氾濫による人的被害に加えて、浜町周辺などで甚大な経済的被害が生じました。これを受けて県は、河川とダムの整備による総合的な治水対策を行い、ほぼ完了した現在、中島川の周辺地域では大きな水害は発生していません。

長崎大水害 (昭和57年7月23日)

諫早大水害 (昭和32年7月25日)

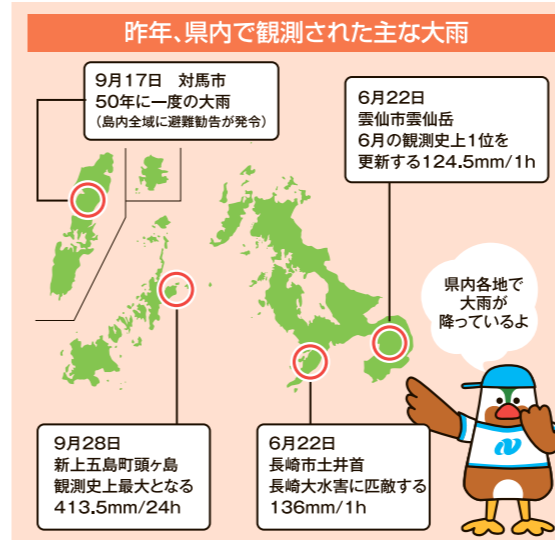


多くの家屋が流された眼鏡橋(諫早市)付近

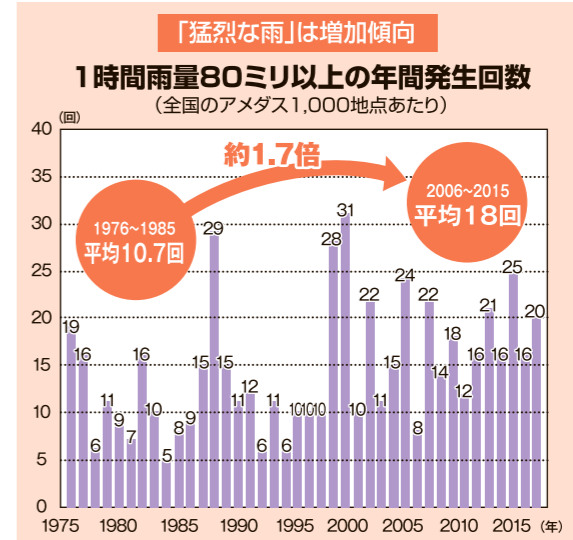
日雨量約620ミリという大雨によって本明川が氾濫し、630名の尊い命が奪われました。諫早は集中豪雨が起こりやすく、大水害以降も1時間に100ミリを越える雨量が度々観測されています。諫早大水害と同程度の雨量に備えるため、河川の改修と合わせて、上流には本明川ダムの建設が国により進められています。

近年の気象状況

近年、全国各地で大雨による災害が頻発していますが、1時間あたり80ミリ以上の「猛烈な雨」は増加傾向にあります。また、昨年は、本県においても記録的な大雨が観測され、今年も壱岐で「50年に一度の大雨」が観測されました。



(県河川課調べ)



(気象庁:気候変動監視レポート)

大水害の教訓と石木ダム建設事業

安心・快適なくらしをつくる県の取組



屋外広告物(看板)には管理・点検が必要です!

全国各地で老朽化等による屋外広告物の落下事故が発生しています。
 県では平成29年4月1日に「長崎県屋外広告物条例」を改正し、安全点検の実施や点検結果の報告等を義務付けました。
 屋外広告物は会社の顔であるため、落下事故が発生した際には、会社の信用も落とします。
 日頃の管理・点検をお願いします。
 詳しくは県都市計画課のホームページをご覧ください。

長崎県 屋外広告物 点検

検索

「第29回長崎県まちづくりの絵コンクール」

- テーマ: 「みんなでつくる 未来のまち」
 ~つくってみたい、住んでみたい
 「未来のまち」を自由に描いてみよう!~
- 応募資格: 県内在住の小学生
- 応募期限: 平成29年9月8日(金)
 ※詳しくは県都市計画課のホームページをご覧ください。

まちづくりの絵

検索

■ 問い合わせ先: 長崎県土木部都市計画課
 (Tel.095-894-3033)



土木部長の岩見です。よろしくお願いします

出身地は宮崎県です。同じ九州人として長崎の発展のために全力で取組みたいと思っております。

これまで、国内はもとより海外まで様々な地域で道路、河川などの整備等に関わってきました。土木の視点から見た長崎県は、変化に富み、また、歴史・文化・人的交流の上から高いポテンシャルを感じております。

インフラの整備は、地域に安全と快適と活力をもたらす、人々の暮らしを支えます。このため、土地の魅力を引き出し、輝かせることができるように様々な取組みと連携を進めていきたいと思っております。

また、防災という観点から、日頃から危機管理の意識を持ち、防災力を高めることに力を注いでまいります。

公共事業に対する考え方は様々であり、難しい局面もありますが、地域の協力が重要です。地域とのコミュニケーション、地域への情報発信を大切に、暮らしが良くなる喜びを、県民の皆さんと分かち合いたいと思っております。

土木事業を通じ、地域が活力を生み出し、魅力ある県に発展いたしますように、土木部職員一丸となって取組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



土木部長 ^{いわみ} 岩見 ^{よういち} 洋一

◎プロフィール
 宮崎県出身。平成元年建設省に入省。北海道、東北、四国などで道路、河川等の整備に携わり、サウジアラビア、ラオスでの海外勤務も経験し、平成29年4月長崎県土木部長に就任。

県内の土木・建築に関する情報を発信しています! <http://www.doboku.pref.nagasaki.jp/ichimannin/top.html>

「1万人、土木・建築体験プロジェクト」ホームページ

1万人 土木

検索

県内の土木・建築に関するイベント情報を発信しています。

facebookページ『よかばい!長崎の土木』

よかばい 土木

検索

「DOVOC通信ながさき」では、読者の皆様からのご質問・ご感想をお待ちしています。

宛先◎〒850-8570 長崎県土木部建設企画課 ☎095-894-3021 FAX095-894-3461 ✉s08080@pref.nagasaki.lg.jp